

■ の箇所は核物質防護情報が含まれているため非公開とします。

第32回原子力委員会  
参考資料第2-1号

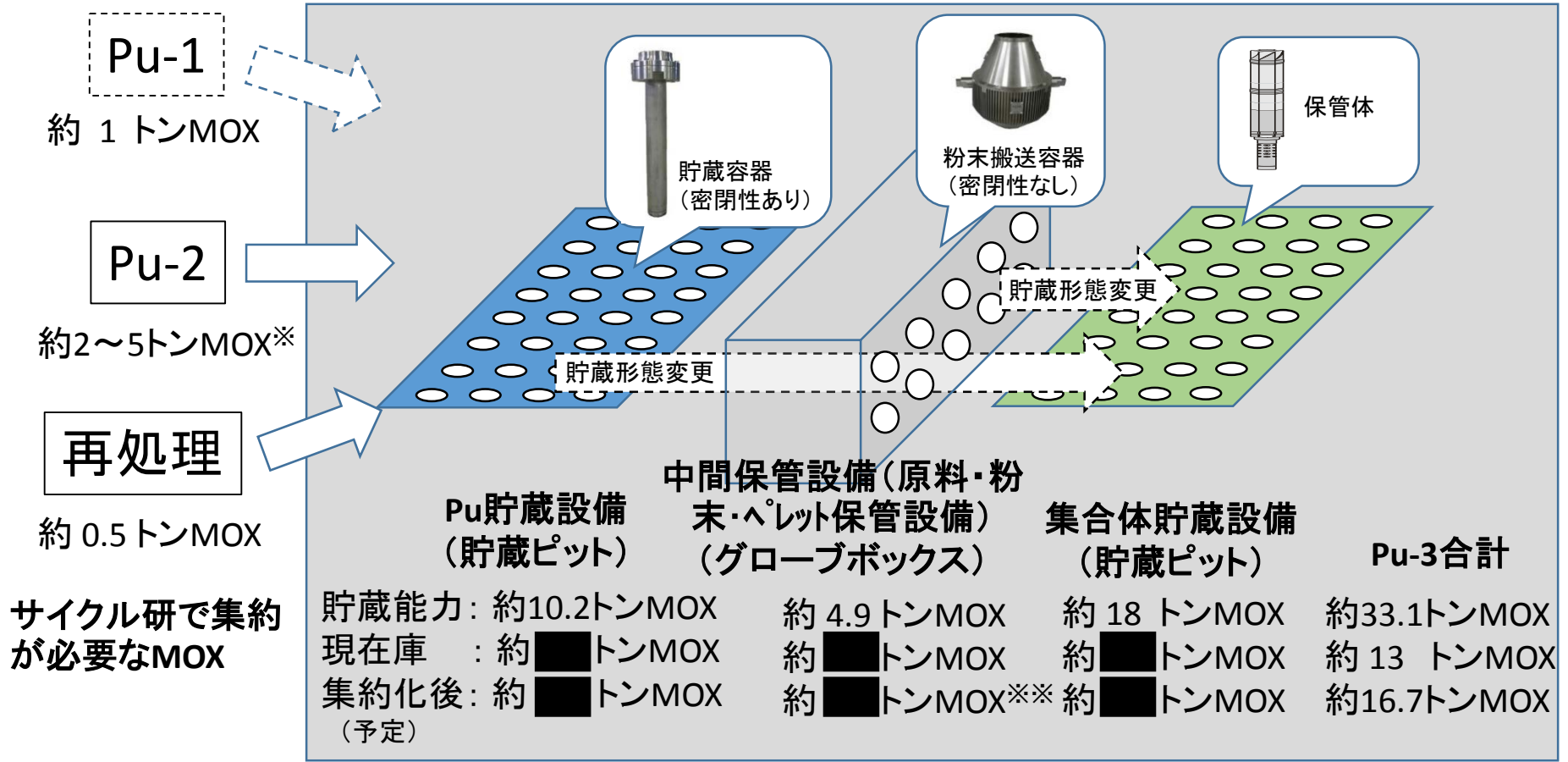
# 核燃料サイクル工学研究所における プルトニウム燃料第三開発室へのMOX集約化について

平成30年9月12日

日本原子力研究開発機構

# 1. サイクル研MOX集約計画概要

- Pu貯蔵設備、中間保管設備内のMOX粉末等を保管体化し集合体貯蔵設備で保管
- Pu貯蔵設備に約■トン分の保管余裕を確保し、他施設からのMOXをPu貯蔵設備に集約
- 中間保管設備内のMOX粉末保管量を可能な限り削減



※今後のPu-2での残材処理量に応じて変化

※※ほとんどがウラン又はMOXペレット。最終的にはゼロを目指す方策を検討中

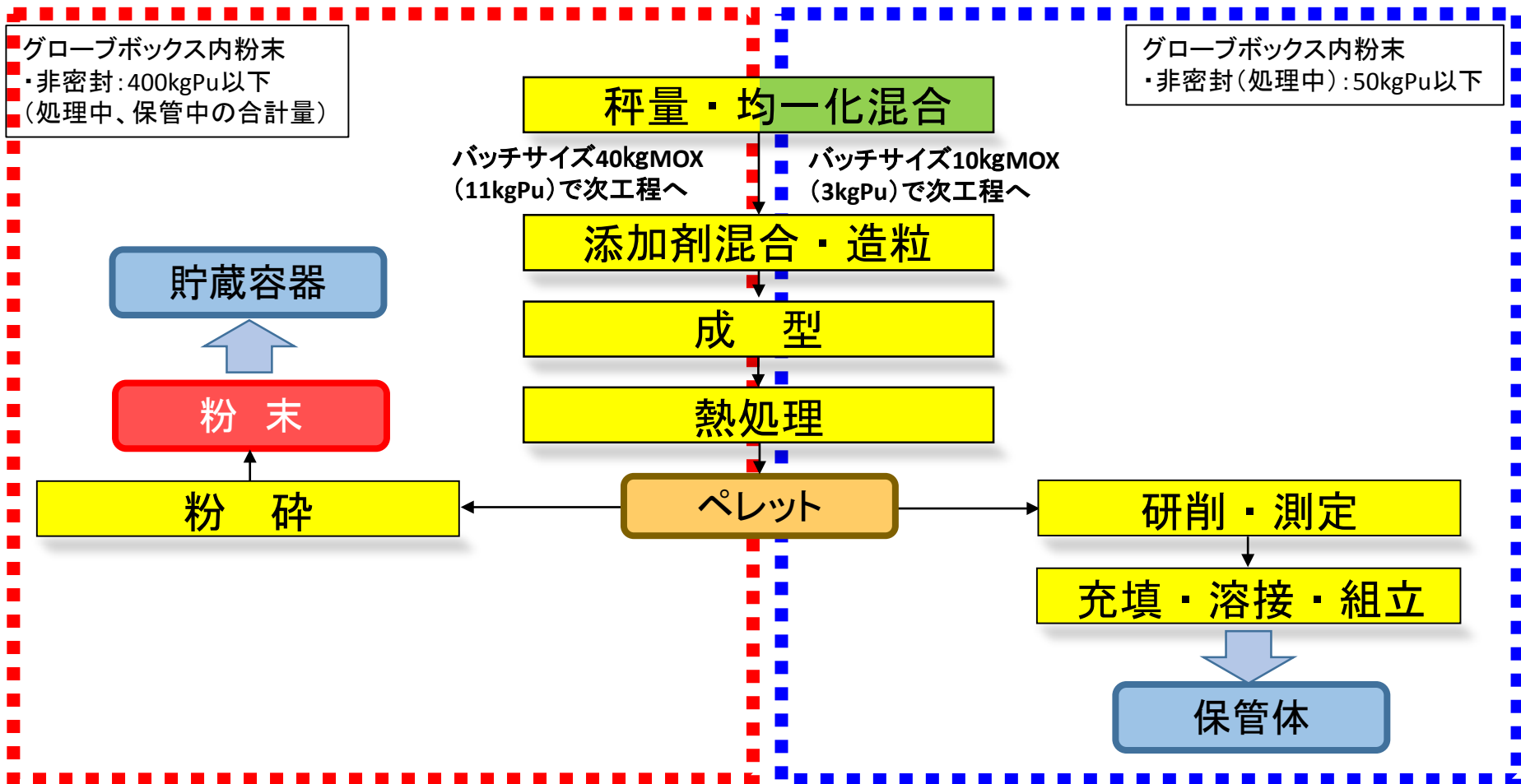
プルトニウム燃料第三開発室(Pu-3)

## 2. 保管体化等の主要な工程

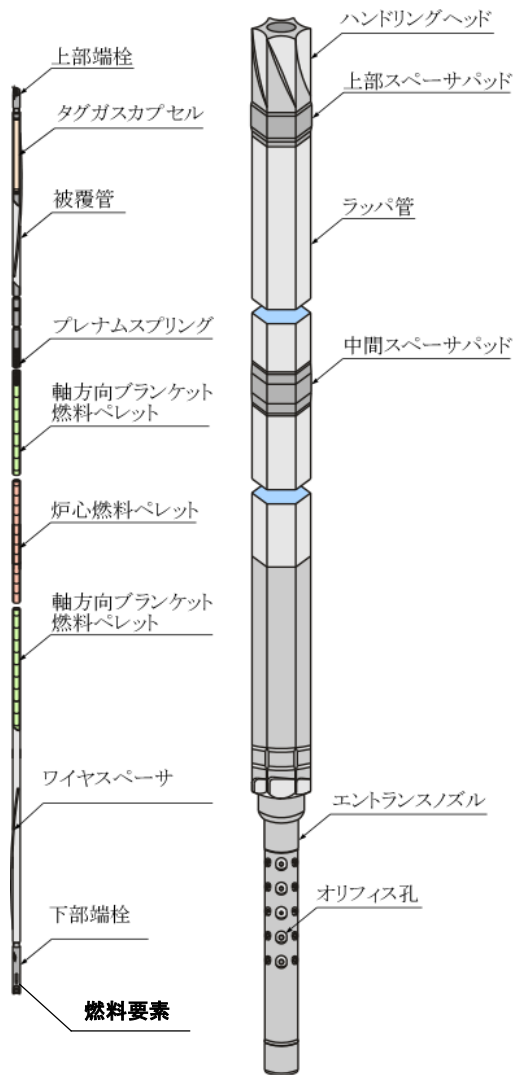
### 貯蔵容器への封入作業

(現行の使用許可ですでに認められている作業)

### 今回計画する保管体化



### 3. もんじゅ燃料集合体と保管体の概要

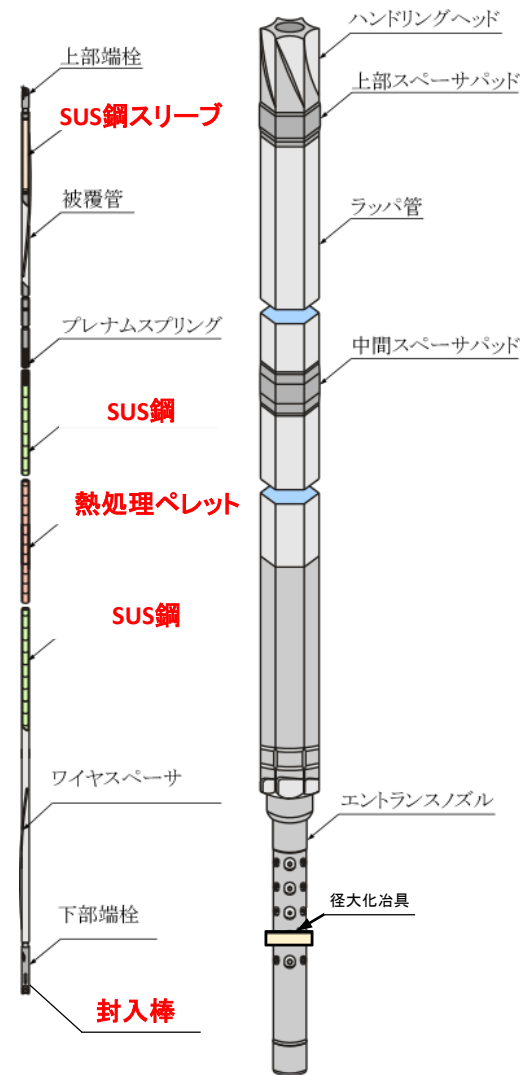


もんじゅ燃料集合体

もんじゅ 初装荷燃料Ⅲ型	項目	保管体**
4,200 mm	集合体全長	4,200 mm
2,813 mm	燃料要素全長	2,813 mm (封入棒)
930 mm	燃料有効長さ	930 mm (熱処理ペレット部)
5.4 mm	ペレット直径	5.4 mm
85.0 %TD*	ペレット密度	90~97 %TD* (評価は100 %TD*)
内側炉心: 25 wt% 外側炉心: 32 wt%	Pu富化度	32 wt%以下
劣化ウラン	ウラン濃縮度	劣化ウラン等
劣化ウラン	ブランケットペレット	なし (ステンレス鋼を挿入)
有り	タグガスカプセル	なし (ステンレス鋼スリーブを挿入)
169 本	バンドル本数	169 本

\* %TD: 理論密度に対する比

\*\* 原子炉に装荷しないことから不純物の仕様は特に規定しない



保管体